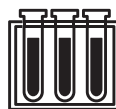


# 自分だけの リップカラーをつくろう!



【団体出展】

株式会社資生堂(東京都)

## ●どんな実験なの？

色を混ぜ合わせて、自分の好きなリップカラーをつくる実験です。

## ●実験のしかたとコツ

【用意するもの】(図1)

パレット、バルク(※1)、8色の色剤、パール剤(※2)、  
スプーン

(※1)化粧品に必要な原料を混ぜてできたもの

(※2)アイシャドウや口紅などに配合され、光を浴び  
る角度によってキラキラと輝くもの

【実験のしかた】

- (1)自分のつくりたい色を考えます。
- (2)つくりたい色をスプーンで少しとり、中央にある透明なバルクへ入れてよくかき混ぜます。(この時、少しだけ取ることと、よくかき混ぜるのがきれいな色をつくるポイントです。)
- (3)色が薄いと思ったら、もう少し同じ色を加えてよくかき混ぜます。
- (4)色が均一になったら、別の色を加えてかき混ぜ、色がどう変わるか観察します。(一度に全色を混ぜると黒くなってしまいますので、少しずつ色を足していきましょう。)
- (5)さらに別の色も加えて、自分の好きな色をつくってみましょう。
- (6)好きな色ができたら、パール剤を少しずつ加えてよくかき混ぜます。
- (7)自分の好きな「キラキラ具合」になったら完成です。  
色と色を混ぜて別の色をつくることを「混色<sup>こんしよく</sup>」といいます。混色には、光を使った加法混色<sup>かほうこんしよく</sup>(色を足すことで明るくなる)と、絵の具などを使った減法混色<sup>げんぽうこんしよく</sup>(色を足すことで暗くなる)がありますが、これは減法混色の実験です。今回は、化粧品で使われるバルク(※1)やパール剤(※2)を使って、絵の具にはない「つや」や「キラキラ」をつくることができます。



図1

## ●気をつけよう

原料が目に入らないよう注意しましょう。万が一入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。

## ●もっとくわしく知るために

・減法混色について

東京商工会議所・編:「カラーコーディネーションの基礎 カラーコーディネーター検定試験3級公式テキスト第4版」(8章 混色と色再現)中央経済社(2011)

・資生堂の研究・生産拠点について URL <http://www.shiseidogroup.jp/rd/network.html>